

令和 7 年第 6 回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和 7 年 6 月 1 8 日（水）

開 会 1 5 時 0 0 分

閉 会 1 6 時 0 0 分

場 所 横田庁舎 3 階 第二委員会室

出席委員 福田教育長職務代理者 谷尻教育委員 松崎教育委員
小林教育委員

委員会事務局 高尾教育魅力課長、石原文化スポーツ推進課長、中林課長補佐

※川本教育長が体調不良のため福田職務代理者が進行

福田委員

川本教育長が体調不良のため私が進行を行います。

外からしか見ることはできませんが、新仁多小学校の校舎の工事も順調に進んでいるように思います。また、今年度開校した横田小学校ですが、町長も様子が気になっているようで子ども達の通学の様子をご覧になったり、千原校長とも話をしているようです。千原校長からは、教職員が毎日楽しそうに仕事をしていると聞いており、私も安心をしています。これも千原校長や若築教頭先生が中心となって教職員を組織的に動かすことができた結果、良いスタートが切れたのだと思います。これからもこの状態が続いてほしいと思います。そのために委員の皆さんには、様々な知恵をお借りすることになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

○諸般の報告

※資料により説明

・教育長職務代理者について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめ指名する委員が職務を行うということで、職務代理者である福田委員にお願いをしています。

・6 月議会定例会 一般質問について

3 名の議員の方から教育関係について質問がありました。

・中学校体育館の空調設備の整備状況及び今後の整備計画について

・文部科学省の補助制度を活用した整備について、町の方針はについて（内田圭子議員）

現在、両中学校の体育館の空調設備の設置、及び整備計画はめどが立っていないと回答をしました。両中学校ともに昭和 48 年に建築された古い建物であり、窓が

非常に多いため、断熱性が低く、空調設備を設置しても効果があるか確証が持てないと説明をしました。ただ、国はすべての体育館に空調設備を設置する方向ですので、そのことを踏まえながら町として慎重に方針決定をしたいと回答をしました。

- ・「水辺の学校」砂田川の小学校教育での利活用される可能性について（田食議員）
 ビオトープ学習等での活用、学校教育ではありませんが、来年度、認定こども園の開設を目指しており、そこで馬木の分園という形で活用できればと考えています。また、公民館事業として親子学習等のビオトープや自然観察会でも活用できるのではないかと回答しました。

- ・校庭に残る遊具を含めた砂田川を中心とした児童公園としての整備について（田食議員）

6月補正予算で空き校舎のグラウンドなどの整備を計上しており、これまで通り子ども達が使えるように点検を実施する計画にしています。砂田川は県が整備したものですので、県と協議をしながら今後の整備・活用について進めていきたいと回答をしました。

- ・敷地内に子どもも使いやすい公衆トイレを設置すべき（田食議員）
 新たに公衆トイレを設置するのは困難だと考えています。ただ、幼児園の活動等で利用したいと事前に申請があれば体育館を貸し出す等の対応はできると思いますが、常に体育館等の施設を開放しておくのは、防犯や人員、管理費用等の面から難しいです。

- ・仁多中、横田中、各地区コミセンや公共施設のLDE化の進捗状況について
 公民館については、町民体育、あと、中央公民館、横田コミュニティセンターの事務室等の一部はLED化が完了しています。他の施設は今後、調査を行いながら計画的に改修を進めていきたいと考えています。

両中学校については、体育館のみLED化が完了しています。公民館と同様に調査を行いながら計画的に改修を進めていきたいと考えています。

○5/31 退職校長・園長会仁多支部総会

教育長が参加をし、その際に自主学習や水泳指導等の学習支援や学校からの要望に応じてお手伝いをしていただけたというお話をいただけているということでした。

○6/3 出雲教育事務所長訪問

令和7年度の重点的な取り組みとして、1つ目に小中一貫教育の推進の方向性を見出していきたいということを伝えました。また、地域学校協働本部を横田は令和8年度、仁多は令和9年度から設置の準備をしたいということを伝えました。

来年度の仁多地域の小学校再編統合に向け、児童のために各小学校から教員を最低2名程度、新小学校へ配置してもらえるようお願いをしました。

事務局	参加者 4 名 ※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言 ※会議録署名委員 小林委員 ○報告事項 ○令和 7 年度奥出雲町一般会計補正予算（第 1 号）について ※資料により説明 ・ 2-1-10 コミュニティセンター管理費 72 万 4,000 円増 大ホールの冷温水発生器の配管が経年劣化で腐食しているため、その交換費用です。現在、フロアマットから水があふれていることがあり、業者に再度確認を行っています。 ・ 2-1-10 高等学校振興費 171 万 5,000 円増 今年度からデジタル田園都市国家構想交付金から第 2 世代交付金に変わった関係により、増額及び財源の振替です。第 2 世代交付金は、多様な越境機会の創出による地域課題解決型事業ということで、全国の学校が連携して事業展開をするという内容になっています。しかし、基本的には高校魅力化事業であり、主にしまね留学や奥出雲学を進めていくことになると思っています。 ・ 6-1-2 農村コミュニティ施設管理費 70 万円増 2 施設で修繕の必要があり、1 つが亀嵩基幹集落センターの事務所の床の剥がれており、転倒の危険があるため、その修繕。もう 1 つが阿井コミュニティセンターの調理実習室の給湯器の水漏れの修繕です。あわせて、阿井コミュニティセンターでは、南側のエアコンが故障しておりますが、こちらについては、阿井コミュニティセンターの全体的な改修に合わせて総務課が災害対策費で対応する予定にしています。 ・ 10-1-2 教育指導費 スクールソーシャルワーカー活用事業 46 万 6,000 円増 国から課題解決のためにスクールソーシャルワーカーを積極的に活用するようにと方針が出されたことに伴い、県が予算を増額したための増額です。奥出雲町でも今まで 1 名体制だったスクールソーシャルワーカーを 2 名増員し、3 名体制にします。 ・ 10-2-1 小学校管理費 小学校施設修繕費 191 万 1,000 円増 布勢小学校体育館の緞帳の昇降機器の修繕のためです。来年度、布勢小学校は閉校を予定していますが、地域の活動拠点、及び防災施設に指定されているため、修繕を行うことにしています。
-----	--

・ 10-2-1 小学校管理費 旧小学校管理費 110 万円増

閉校後の小学校の管理を委託するための増額です。現在、農業公社と話を進めています、協力いただける地域の方がいらっしゃるようでしたらお願いしたいと思っています。

・ 10-3-3 中学校施設整備費 校内ネットワーク環境整備事業 440 万円増

中学校施設整備費 学校防犯監視装置整備事業 230 万円増

当初予算にも上げていましたが、設計の入札が不落となったため、再度精査し、増額になりました。

防犯監視装置として監視カメラの設置を予定していますが、国の補助金が遅れていると聞いているため、補助金が出ない場合、町単独で設置を行う予定にしています。

校内ネットワーク環境整備ですが、繰越事業になる可能性があります。理由としては、タブレット端末の更新を令和 8 年度に予定しており、入札等を経て、端末の共用が正式に開始されるのが令和 9 年度になると想定しているため、令和 8 年度中に整備を終えることができれば子ども達には支障がないと考えているからです。整備完了までの期間は、LTE 回線を利用した通信での対応を考えています。

・ 10-4-1 社会教育総務費 地域学習拠点施設運営費 81 万 8,000 円増

人件費高騰に伴い、県からその分の補助金が増額されました。

・ 10-4-3 文化財保護費 たたら角炉伝承館管理費 13 万 2,000 円増

たたら角炉伝承館の煙感知器が誤作動を起こしたため調査をしたところ、煙感知器の更新目安である 20 年を超えていたため、煙感知器 4 個の交換費用です。

・ 3-2-3 保育所費 認定こども園開設準備に要する経費 370 万円増

教育委員会の所管ではありませんが、報告をさせていただきます。

・ 8-4-2 公園整備費 公園整備事業 1,600 万円

2030 年（令和 12 年）に予定されている島根かみあり国スポのホッケー競技の開催が本町で予定されているため、それに伴い、日本ホッケー協会の視察が昨年行われました。その際に人工芝の張替えや観客席の増設と屋根の設置等の指摘があり、現在、県協会や準備委員会、国スポ準備室と協議を兼ねているところです。令和 10 年に検定を予定しており、それに合格しないと本町でホッケー競技が開催できないため、人工芝については、張替えの方向で進めているところですが、それに 3 億程度かかる見込みです。現在、張られている人工芝ですが、まだ使える状態のため、他の施設で活用できないか検討をしています。

	横田高校のホッケー場と三成公園の２か所で開催を予定しているため、工事期間が重ならないように設計を早める方向で準備を進めています。
松崎委員	中学校はまだ Wi-Fi が整備されていなかったのですか。プリンタは無線で接続していると聞いていたので整備されているものだと思っていました。
事務局	両中学校とも Wi-Fi 対応のプリンタはありますが、インターネットに接続するための Wi-Fi は整備されていません。小学校については、横田小学校は整備済み、仁多小学校は整備する予定にしています。
福田委員	亀嵩基幹集落センターですが、将来的に空き校舎となった小学校に移転する構想はありますか。
事務局	亀嵩だけではなく、阿井についても公民館が老朽化しており、公民館機能を空き校舎の一部に入れることも検討しています。地域の方においても、そのような形を望んでいるという話を聞いています。ただ、校舎は大変大きいので、他の施設活用も考えていく必要があります。
谷尻委員	亀嵩でしたら近くに温泉もあるので企業などの合宿施設として活用する方法もあるかもしれませんね。
事務局	庁内検討会議でもそのような案が出てきています。本町は、将来的に人口減少が見込まれているため、空き校舎等を複合施設として機能的に使っていく必要があると考えています。
松崎委員	教育委員会の所管ではありませんが、認定こども園とはどのようなものなのでしょうか。また、現在どのような準備が進んでいるのでしょうか。時折、このような質問を受けることがあり、回答に困っています。
谷尻委員	幼保一体型の認定こども園になるということを重点的に説明しており、保育時間や保育料等の具体的な話がなかったように思います。多くの方はそこを気にしていると思います。 幼保一体型の認定こども園は、学校教育法における教育施設である幼稚園と児童福祉法における児童養護施設である保育園の両方を併せ持つ学校兼児童福祉施設になります。対象年齢は、保育所と変わりませんが、1号から3号までのすべての保育認定区分で入園することができます。ただ、給食の提供が任意である幼稚園とは異なり、認定こども園は給食の提供が義務であるため、1号認定の教育標準時間（1日4時間）でも給食が提供されます。また、すべての保育認定区分の子ども達を受け入れるため、事務作業が非常に煩雑になります。

福田委員	本町では共働き世帯が多いため、認定こども園に預けられる子どものうち、3歳以降の子どもは、9時～14時まで幼稚園教育要領に基づく教育を受け、その後は、保育所保育指針に基づいて保育を受ける形になると思います。教育標準時間内で子どもを預ける家庭は少ないと思います。
谷尻委員	現在、保育所の職員に対して認定こども園へ転職しないかと声かけが行われています。多くの職員は、自身の家庭や認定こども園の特色等で悩んでいると聞いています。全国的に保育所から小学校に入学した子どもは小1プロブレムが起りやすい傾向があるという話も転職を悩む原因の1つかもしれません。
福田委員	本町では、そのような傾向はないと思います。今回、町長が認定こども園の設置を進めているのは、将来的な人口減少や幼児教育と保育を見直し、新しい形にしたいという考えがあるのだと思います。そのため、今までの保育所を否定する考えはないと思います。
谷尻委員	今回、横田地区は認定こども園という形になりましたが、仁多地域は三成に社会福法人として三成保育所があるため、横田のように話が進まないかもしれません。
事務局	○スクールソーシャルワーカー活用事業について ※資料により説明 現在、本町では、社会福祉士の資格を持ったスクールソーシャルワーカーを1名雇用しています。しかし、ダブルワークのため、要請に対して早急に応えることが難しいことがありました。そのため、新たに2名雇用し、3人体制にすることで負担の軽減やよりきめ細かな対応ができるようにしました。また、元八川小学校長だった川角先生が生徒指導支援アドバイザーとして三成小学校に在籍することになっています。 < 次回定例会は7月16日（水）午後 15時00分から（予定） > 会 議 録 署 名

署名委員

小林 勝吾

教育長
(職務代理者)

福田 充雄